

<訪日数>

・2016年:34.78万人(対前年比29.6%増) ※2016年訪日数2,404万人のうち約1.4%(訪日数第10位の市場)

<市場特性>

- ・主な国外旅行シーズン:イースター休暇(3月、4月)、学校休暇(4~5月、10月)、クリスマス休暇(12月)
- ・主な訪問国・地域(2015年):1位中国、2位シンガポール、3位香港、4位マレーシア、5位韓国(※日本は8位、シェア約5%)
- ・人気の日本の訪問地:ゴールデンルート

<29年度プロモーション基本方針>

最大のハイシーズンであるイースター休暇と学校休暇がある3~5月と、第2のハイシーズンである12月をターゲットに訪日需要を促進する。人気のあるゴールデンルートに加え、直行便の飛ぶ九州や旅行先として関心が高まる北海道への送客を図る。マニラ首都圏を中心にプロモーションを展開するとともに、直行便が就航するセブにおいても訪日需要の拡大を図る。

<29年度の主な旅行博等(予定)>

- 7月:Travel Madness Expo(TME・マニラ)、10月:Japan Travel Festival(JTF・マニラ)、
- 2月:Travel Tour Expo(TTE・マニラ)

<主要ターゲット層>

①高所得層~中間層の家族

訴求テーマ:

歴史的・文化的スポット、四季の自然景観(桜・雪)、ショッピング、日本食、キリスト教関連

②高所得層~中間層の20代若者

訴求テーマ:

歴史的・文化的スポット、日本の文化体験、テーマパーク

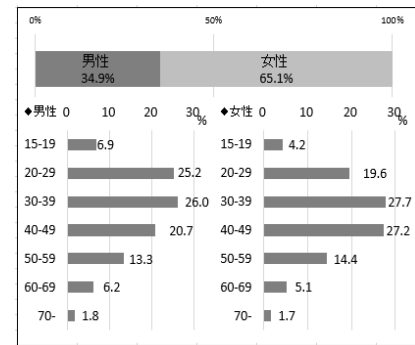
フィリピン市場の市場特性

- ・観光目的/業務目的割合: 観光53.3%、商用・その他46.7%
- ※東南アジア平均(観光61.0%、商用・その他39.0%)、全市場平均(観光72.7%、商用・その他27.3%)
- (以下は観光目的のみの数値)
- ・個人/団体割合: 個人92.8%、団体7.2% ※東南アジア平均(個人80.4%、団体19.6%)、全市場平均(個人74.0%、団体26.0%)
- ・リピーター率 : 47.2% ※東南アジア平均55.5%、全市場平均55.1%
- ・平均宿泊数 : 9.0泊 ※東南アジア平均7.1泊、全市場平均6.0泊

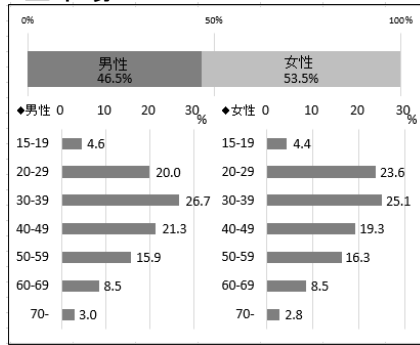
※出典: 2016年訪日外国人消費動向調査(平均値は国籍・地域別訪日外客数をウェイトとする加重平均)

性別年代割合

フィリピン

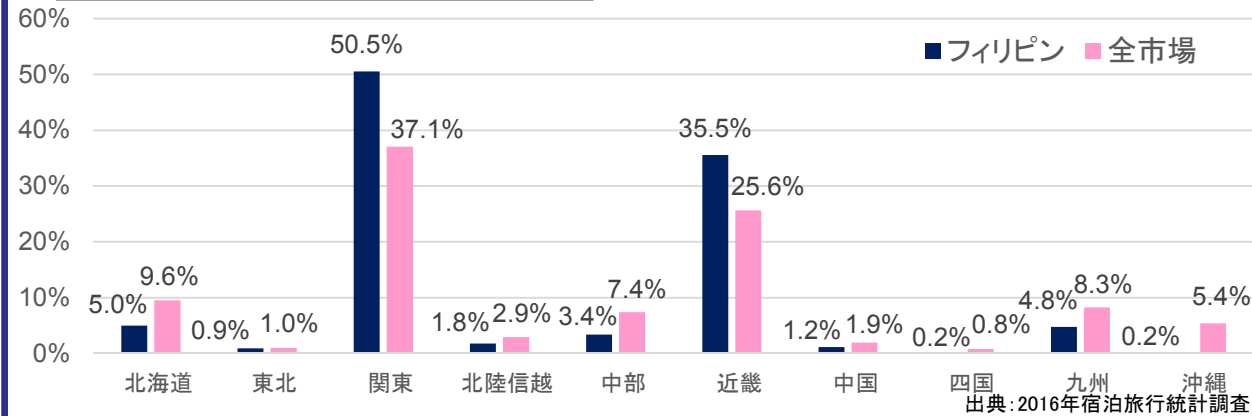


全市場



出典: 2015年法務省出入国管理統計

ブロック別外国人宿泊統計割合

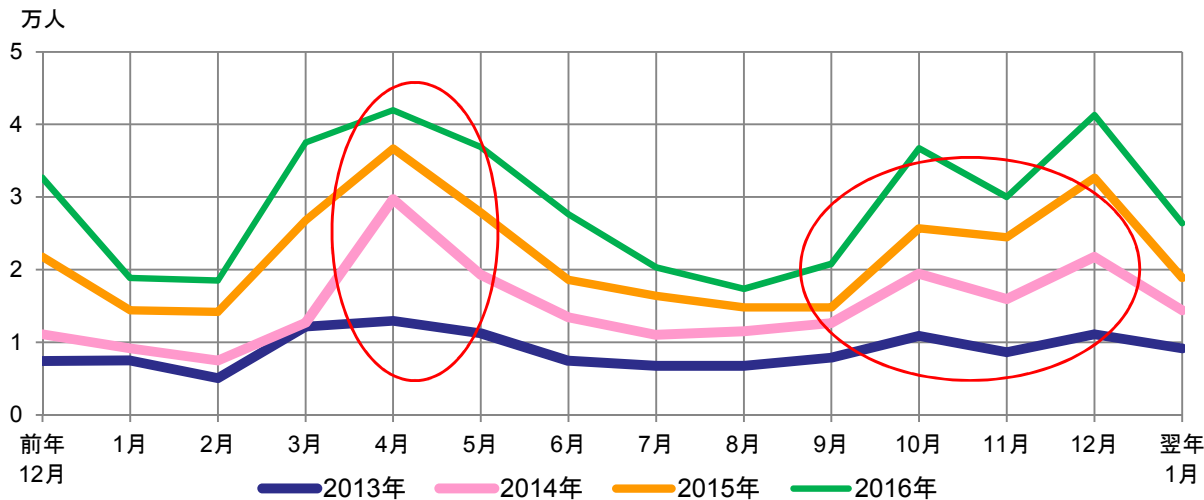


出典: 2016年宿泊旅行統計調査

直行便の就航路線

- <2017年夏期>
- 成田=マニラ(週56便)
 - 羽田=マニラ(週21便)
 - 関西=マニラ(週22便)
 - 中部=マニラ(週15便)
 - 福岡=マニラ(週10便)
 - 成田=セブ(週25便)
 - 関空=セブ(週7便)
 - 中部=セブ(週3便)
- ※2017年夏期期首ダイヤに基づいて観光庁集計(2017年4月1日時点)

月別訪日数の推移



2017年の主な休暇

- ・元旦(1月1日(日))
- ・旧正月(1月28日(土))
- ・エドサ革命記念日(2月25日(土))
- ・勇者の日(4月9日(日))
- ・イースター(4月13日(木)~15日(土))
- ・レイバーデー(5月1日(月))
- ・独立記念日(6月12日(月))
- ・イスラム断食明け祭(6月26日(月))
- ・ニノイ・アキノ記念日(8月21日(月))
- ・英雄の日(8月28日(月))
- ・犠牲祭(9月1日(金))
- ・特別休暇(10月31日(火))
- ・万聖節(11月1日(水))
- ・ポニファシオ・デー(11月30日(木))
- ・クリスマス休暇(12月24日(日)、25日(月))
- ・リーザルデー(12月30日(土))
- ・大晦日(12月31日(日))
- ・学校休暇※学校により異なる
4月7日(金)~6月5日(月)
10月21日(土)~11月1日(水)
12月22日(金)~1月2日(火)